

簡易郵便局を訪ねて 100

今まで支えていただいた全ての皆様へ感謝

おにほ 鬼場簡易郵便局（長野県茅野市）



局長 藤田とし子

地域で頑張っている簡易郵便局を紹介します。



当局は八ヶ岳山麓の長野県茅野市にあります。その昔、縄文時代この地では良質な黒曜石が採れ、それを石器に整えて獲物を捕り、どんぐりも豊富にありました。全国各地からこの黒曜石を求めてこの地に集まり、日本で一番栄えていたといわれています。

縄文の里といわれるこの地では四五〇〇年から五〇〇〇年前の土偶が発掘されています。縄文のビーナス・仮面の土偶二体とも国の



国宝 縄文のビーナス

重要文化財に指定され、また、この里の辺り一帯の尖石遺跡は国の特別史跡に指定されています。国の宝物が三個もあり地域住民の誇りでもあります。

当局は一九六九年三月に茅野市が受託となり市長さんが受託者（当時は個人受託制度はない）、母が代行者（今の事務取扱者）となり開局しました。

私は一九七一年から代行者となり、一九八二年から個人受託制度



国宝 仮面の土偶



鬼場簡易郵便局外観

ができ、当時の箕輪登郵政大臣と契約を結び現在に至っています。私の曾祖父が一八九五年に商店

の経営を始め、現在もその商店の一角で簡易郵便局を営んでいます。

一九八六年ごろはバブル景気で商店も郵便局も忙しく、私生活も九人家族の食事や子育て等でとても忙しかった。

そんな折、いつも読み返し支えられたのが開局初日の母の日記でした。

「このような大切なお仕事を任せていただけて心から感謝したい。受け持ち局の小平重紀局長様が蓼科・白樺湖方面への要の地の藤田さんのお店で郵便局を請け負って欲しいと依頼された。この気持ちを大切に、日の丸を背負った仕事に対して真面目に、正確な仕事を

すると心に誓いたい」
郵政省に始まり民営化により組織が変わろうとも母からの精神は未永く引き継いでいきたいです。
そして心身ともに健康でなければ正確な仕事もできません。食生活を充実させて免疫力をつけ、運動の習慣を常に心がけています。

朝起きた時ワクワクする、楽しい毎日であり続けたいと願って努力しています。

お客さまとの信頼関係を築き、支社やサポート局の皆様からのアドバイスを聞き漏らすことなく、感謝の心を念頭において日々の業務に励んでいきます。

住所 〒391-0213 長野県茅野市豊平 六四七三一一

